



# かでな

編集と発行

発行 嘉手納町役場

編集 企画課広報係

■904-02

嘉手納町字嘉手納588番地

☎ 09895(6)-1111

(内線331)

印刷: 光文堂印刷株式会社



若者たちの手作りによる第一回  
Y.O.U・遊・比謝川フェスティバル  
が、七月三十一日(日)、比謝川沿  
いの屋良城祉公園を中心に催され  
手づくりいかだ競漕や子供たちに  
よるグッピーすくい、急流下り、  
インテアンブリッジなど多様なイ  
ベントに、夏休みとあって町内を  
はじめ、近隣市町村から、二千名  
余の観衆がつめかけ、賑わいをみ  
せていました。

8月1日現在の人口

	東 区	上 区	中 区	北 区	南 区	西 区	西浜区	小 計
世帯数	710	427	397	554	571	596	717	3,972
男 子	1,351	758	702	897	855	1,054	1,482	7,099
女 子	1,296	795	686	955	924	1,070	1,441	7,167
計	2,647	1,553	1,388	1,852	1,779	2,124	2,923	14,266



趣味を生かし  
色あざやかな手まり作りに励げる  
屋良の池原カマおばあちゃん

趣味を生かして、いろいろと手まりを作り、出来あがった手まりを地域をはじめ外国のしんせきや友人、友人らへプレゼント。その出来ばえが好評を博し、大変喜ばれているおばあちゃんがいる。

その話題の人は、明治三十二年五月生まれで、今年九十歳を迎えた嘉手納町字屋良七十番地（東区）に住む池原カマおばあちゃんである。写真。

おばあちゃんは、現在まごの池原正夫（役場厚生課長）さんらと生活され、朝は六時に起床し日課である自宅の庭清掃や草花の手入れをし、若者がびっくりするほど足腰も強く、目や耳もしっかりと生きており、九十歳の年齢を感じさせないほど若く、今まで自分で着物を洗濯され、のりの入った着物を着けるほど、きれいなおばあちゃんである。

カマおばあちゃんが、手まりや花作りをはじめたのは六十一才の頃、老人クラブの講習会で習いはじめたのがきっかけで、これまで趣味として数えきれないほど作ってこられた。

しかし、手まり作りは、針を使

ところは町老人クラブで、まり作りを仲間へ指導させていたが、高齢で中央公民館まで歩くことが出来なくなり、現在は自宅で趣味として、手まりや花作りに励み、若かりしころの老人クラブ時代を懐かしんでいた。

最後に、カマおばあちゃんへ長寿のひげつをたずねると「食事は腹八分に、野菜をたくさんたべたおかげである」と笑みをうかべ話された。

う仕事を要するため、九十歳の高齢者で手まり作りをしている方は町内でも数少ない。カマおばあちゃんは、この様な針仕事もおてのもので、日中の晴れたときはメガネをかけないで針に糸を通され、近所や地域の方々がびっくりするほど健康なおばあちゃんである。

手先の器用さは昔からで、池原家へとついだ時からミシンをふみ、当時の県立農林学校生徒のほころびをつくろつてあげるなど生徒たちから大変喜こばれていた。





架橋の完成予想図



## 両町村民の永年の夢である 水釜—大木線の架橋 昭和66年4月完成をめざす

職員採用試験において、百三十四名の受験者のなかから、見事難関をとつぱされ、八月一日付で町の職員として新規採用された精鋭たちである。

町長と新職員との顔合せは、町長が公務出張のため八月一日の辞長を緩和しようと、嘉手納水釜—読谷村大木線の架橋工事の調印式が七月二十八日午前、読谷村役場の村長室において吉浜町長、山内徳信読谷村長らが出席して行なわれた。

架橋工事は、嘉手納町長室と読谷村の合同事業で、工事費は五億一千二百万円、事業は両町村が費用を折半し、架橋は、昭和六十六年四月完

慢性的な交通渋滞

を緩和しようと、嘉手納水釜—読谷村大木線の架橋工事の調印式が七月二十八日午前、読谷村役場の村長室において吉浜町長、山内徳信読谷村長らが出席して行なわれた。

この橋が完成すると、嘉手納町長と読谷村の合

同事業で、工事費は

五億一千二百万円、

事業は両町村が費用を折半し、架橋は、

昭和六十六年四月完

成を目指し進められ

た。

この橋が完成すると、嘉手納町長と読谷村の合

同事業で、工事費は

五億一千二百万円、

事業は両町村が費用を折半し、架橋は、

昭和六十六年四月完

成を目指し進められた。今年の新職員は、去った七月に中央公民館ホールで行なわれた町職員採用試験において、百三十四名の受験者のなかから、見事難関をとつぱされ、八月一日付で町の職員として新規採用された精鋭たちである。

町長と新職員との顔合せは、町長が公務出張のため八月一日の辞長を緩和しようと、嘉手納水釜—読谷村大木線の架橋工事の調印式が七月二十八日午前、読谷村役場の村長室において吉浜町長、山内徳信読谷村長らが出席して行なわれた。

この橋が完成すると、嘉手納町長と読谷村の合

同事業で、工事費は

五億一千二百万円、

事業は両町村が費用を折半し、架橋は、

昭和六十六年四月完

成を目指し進められた。今年の新職員は、去った七月に中央公民館ホールで行なわれた町職員採用試験において、百三十四名の受験者のなかから、見事難関をとつぱされ、八月一日付で町の職員として新規採用された精鋭たちである。

町長と新職員との顔合せは、町長が公務出張のため八月一日の辞長を緩和しようと、嘉手納水釜—読谷村大木線の架橋工事の調印式が七月二十八日午前、読谷村役場の村長室において吉浜町長、山内徳信読谷村長らが出席して行なわれた。

この橋が完成すると、嘉手納町長と読谷村の合

同事業で、工事費は

五億一千二百万円、

事業は両町村が費用を折半し、架橋は、

昭和六十六年四月完

## 希望に胸ふくらむ 六名の新採用職員 町長と初顔合せ

令交付式(助役が町長代理で交付)へ出席できなかつたために行なわれたものである。新職員も、町長と間近にひざをまじえて話を交す

感も一瞬にはぐれ、笑みがこぼれていた。」と激励。

町長は六名の新職員に対し「試験はむずかしかつたようであるが、やかな雰囲気のなかで談笑された感も一瞬にはぐれ、笑みがこぼれていた。」と激励。

写真。



調印式で握手を交す吉浜町長と山内読谷村長





身障者の介助についての説明をうけたあと、一人一組のペアになつて、アイマスクや車イスを使用し、実地に体験学習を行なつた。写真。

アイマスクをかけた生徒たちも、実地は初めてとあって、歩くのに方向を失ない街路樹の方へ歩いたり、コーナーを曲がる時に車イスの操作をまちがえて立ち往生するなど、四苦八苦の様子であったが、講師の指導のもと、参加者全員が体験学習へ真剣に挑んでいた。

実地体験を終えた、嘉手納小学校六年生の我如古勝男君は「実際

## ボランティア・サマースクール開催 町内の小学生、身障者の気持で アイマスクや車イスで実地体験

「はじめてみませんか、ボラン

ティア活動を」をテーマに、第三回小学生ボランティアサマースク

ールが町社会福祉協議会主催によ

り、町内の小学生を対象に八月九

日、講師に大城竹信県視覚障害者

福祉協議会事務局長を招き、庁舎

前で行なわれた。

ボランティア・サマースクール

は、実際に障害者体験をするなかで、相手の立場になって考え、思

生徒たちも、体験に入る前に一階

ロビーで講師の大城竹信先生から、閉じた。

いやりの心を見出すことにより、

健常者と障害者が「共に生きていける社会づくり」を進めていくこ

とをねらいに、当日は夏休みにも

かかわらず、町内の両小学校から

二十五名余の生徒をはじめ民生委員やボランティア、社協職員らあわせて五十名余が参加された。

午前中は実地体験が行なわれ、

ボランティア・サマースクールを

にアイマスクをかけて歩いてみた ら、まづくらでこわかった。自分で 体验をし、初めて目の不自由な人の 大変さを知った」と感想話をされた。

実地体験も午前中で終り、午後

からは、かりゆし国体の「翔べフ エニックス・力の限り」の映写を 鑑賞し、大城先生の話をきいたあ

と、障害者体験の感想文を書いて、

ボランティア・サマースクールを

## 新垣いつかさん 町農協代表として 中頭地区大会へ派遣

町農協主催による「第五回文化

活動大会および親と子のつどい」

が、八月六日午前十時から町農協 ホールで開かれた。写真。

大会およびつどいは、農協のしくみを通して共同の心を養うこと

を目的に、実践教育の一環として、 每年行なわれている。

席上、金城組合長は「農協は皆

さんが豊かに、幸せになることが 目的です。皆さんも、先生や父母 の言うことをよく聞いて、これからも頑張って下さい」とあいさつ。

このあと、嘉手納・屋良両小学 校生の優秀な「子どもの光」の感

想文の記事活動体験が行なわれ、

あらかきさや、新垣いつか、新 垣香、伊波美奈子、神山吉宗、神 谷江津子、しまぶくろりか、知 花順子、とけしまさこ、やかび

みきさんら十名が、つぎつぎに演 壇へ立つて自分の感想文を発表す ると、詰めかけた多くの参観者から拍手が送られた。

生徒たちの発表も一通り終り、 審査の結果、「子どもの光を読ん で」を発表された嘉手納小学校三 年生の新垣いつかさんが最優秀賞

に輝き、中頭地区大会への嘉手納 町農協代表に決まった。

午後からは、親子のつどいへと 移り、家庭にある古生地を利用しての きんちやくぶくろ作りに親子で挑戦されていました。



## 夏休みの宿題を兼ね 子供たちが、水生生物採集で

### 比謝川・長田川の水質を調査測定

「比謝川・長田川に生息する水の生生物を採集して、その水生生物の生息状態で川の水質を調査しよう」と、県公害衛生研究所の専門官を講師に招き、北・中・上区のPTA、子供会、育成会の三団体主催による「水生生物による水質調査」が、八月三日午後比謝川・長田川で行なわれた。

同調査には、子供たちの夏休みの宿題も兼ねるとあって八十名余の親子が参加。調査に先立ち、参加者は中央公民館ホールにおいて、あらかじめ県公害衛研が準備した「生物で調べる川の水質」のパンフレットやビデオなどで川に生息している水生生物を、まえもつて鑑賞し、おさらいをした後、午後二時比謝川と長田川の二グループに分かれて、自家用車やマイクロバスに分乗して、目的地に向かった。

しばらくすると、調査地の川へ到着。車から降りた子供たちは、大人の案内で川のなかへはいるなり「冷たい」と、水の冷さに思わず歓喜をあげていた。

参加者は、生物採集を前に、講師から水生生物の生息場所や採集方法について説明をうけたあと、各自が採集用具のあみやファンシーカップ、ピンセットなどをもつて、川の流れやゆるやかな場所の石をおこし、親子で生物採集にとりくんでいた。写真。

子供たちも、キャンプを思わせる川での実地学習に満足顔で、石をおこし、親子で生物採集にとりくんでいた。写真。

水生生物の調査の結果、サカマキガイやミズムシ、ヒルなどが主に生息している比謝川の水質は、やや汚れた水と判定された。一方、カワゲラやエビなどが生息する長田川の水質は、北部の川を思われるほどきれいな水であると判定。衛生研究所の講師も太鼓判をおしていた。

嘉手納警察署(渡久地喜常署長)と地区交通安全協議会による交通安全サマー作戦が、八月十五日午後国道五十八号線沿の兼久マリーナ入口で展開された。

全県的に交通死亡事故が多発するなかで、同署管内の今年の交通死事故は一体と少なく、日頃の交通安全指導が成果をあげている。

この様な状況をさらに継続していくために、ドライバーの皆さんへ冷たい物やチラシ、リボンを配り、交通ルールやマナーを理解させ事故を防止しようと、同作戦には、渡久地署長や山城幸一地区交通安全協会副会長をはじめ署員や各種団体から二十六名

余が参加された。

作戦に先立ち、渡久地署長・山城地区副会長は「日中は、三十一度をこす暑さで、ドライバーのみなさんもいねむり運転になりがちだが、冷たい飲み物で一息ついてもらい、チラシやリボンを配り、交通ルールやマナーをよびかけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を見せるなど、好評を博していた。

子供たちが、水生生物採集で比謝川・長田川の水質を調査測定



### 冷たい飲物や、チラシ・リボン配りで 交通ルールやマナーを指導

嘉手納警察署(渡久地喜常署長)と地区交通安全協議会による交通安全サマー作戦が、八月十五日午後国道五十八号線沿の兼久マリーナ入口で展開された。

全県的に交通死亡事故が多発するなかで、同署管内の今年の交通死事故は一体と少なく、日

頃の交通安全指導が成果をあげている。

この様な状況をさらに継続していくために、ドライバーの皆

皆さんへ冷たい物やチ

ラシ、リボンを配り、

交通ルールやマナー

を理解させ事故を防

止しようと、

同作戦には、渡久

地署長や山城幸一地

区交通安全協会副会

長をはじめ署員や各

種団体から二十六名

余が参加された。

作戦に先立ち、渡久地署長・

山城地区副会長は「日中は、三

十一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十

一度をこす暑さで、ドライバ

ーのみなさんもいねむり運転になりがち

だが、冷たい飲み物で一息ついて

もらい、チラシやリボンを配り、

交通ルールやマナーをよび

かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導

も、この日は、冷たい飲み物を配

つてのソフトな指導に、ドライバ

ーの顔もいつもとは違い、笑顔を

見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十  
一度をこす暑さで、ドライバ  
ーのみなさんもいねむり運転になりがち  
だが、冷たい飲み物で一息ついて  
もらい、チラシやリボンを配り、  
交通ルールやマナーをよび  
かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導  
も、この日は、冷たい飲み物を配  
つてのソフトな指導に、ドライバ  
ーの顔もいつもとは違い、笑顔を  
見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十  
一度をこす暑さで、ドライバ  
ーのみなさんもいねむり運転になりがち  
だが、冷たい飲み物で一息ついて  
もらい、チラシやリボンを配り、  
交通ルールやマナーをよび  
かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導  
も、この日は、冷たい飲み物を配  
つてのソフトな指導に、ドライバ  
ーの顔もいつもとは違い、笑顔を  
見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十  
一度をこす暑さで、ドライバ  
ーのみなさんもいねむり運転になりがち  
だが、冷たい飲み物で一息ついて  
もらい、チラシやリボンを配り、  
交通ルールやマナーをよび  
かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導  
も、この日は、冷たい飲み物を配  
つてのソフトな指導に、ドライバ  
ーの顔もいつもとは違い、笑顔を  
見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十  
一度をこす暑さで、ドライバ  
ーのみなさんもいねむり運転になりがち  
だが、冷たい飲み物で一息ついて  
もらい、チラシやリボンを配り、  
交通ルールやマナーをよび  
かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導  
も、この日は、冷たい飲み物を配  
つてのソフトな指導に、ドライバ  
ーの顔もいつもとは違い、笑顔を  
見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十  
一度をこす暑さで、ドライバ  
ーのみなさんもいねむり運転になりがち  
だが、冷たい飲み物で一息ついて  
もらい、チラシやリボンを配り、  
交通ルールやマナーをよび  
かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導  
も、この日は、冷たい飲み物を配  
つてのソフトな指導に、ドライバ  
ーの顔もいつもとは違い、笑顔を  
見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十  
一度をこす暑さで、ドライバ  
ーのみなさんもいねむり運転になりがち  
だが、冷たい飲み物で一息ついて  
もらい、チラシやリボンを配り、  
交通ルールやマナーをよび  
かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導  
も、この日は、冷たい飲み物を配  
つてのソフトな指導に、ドライバ  
ーの顔もいつもとは違い、笑顔を  
見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十  
一度をこす暑さで、ドライバ  
ーのみなさんもいねむり運転になりがち  
だが、冷たい飲み物で一息ついて  
もらい、チラシやリボンを配り、  
交通ルールやマナーをよび  
かけていた。

また、いつもはお堅い交通指導  
も、この日は、冷たい飲み物を配  
つてのソフトな指導に、ドライバ  
ーの顔もいつもとは違い、笑顔を  
見せるなど、好評を博していた。

渡久地署長は「日中は、三十  
一度をこす暑さで、ドライバ  
ーのみなさんもいねむり運転になりがち  
だが、冷たい飲み物で一息ついて  
もらい、チラシやリボンを配り、  
交通ルールやマナーをよび  
かけていた。

&lt;p

# 屋良城跡公園を中心に 遊・比謝川フェスティバル 衆で賑う

「おもいっきり水遊び」  
「水にしたしみを！」

！！



「水にしたしみを」・「おもいっきり 水遊び」をキヤッチフレーズに第一回Y.O.U・遊・比謝川フェスティバルが、町役場職労の四国体共催により、七月三十一日比謝川沿いの屋良城祉公園を中心に催された。

フェスティバルは若者たちが、比謝川に清流を！所にと、比謝川の自然の大切さを町外へアピールしようと、初めての手作りイベントである。当日は曇り空の天候の下、ときおり大粒の雨が降るにもかかわらず、夏休みともあって町民をはじめ隣接市町村から二千名余の親子や家族連れなどが参観させていた。

午前十時半、横断幕を先頭に海邦船太鼓や手づくりイカダをかいだ若者たちが、嘉手納小・中学校のグランドを出発、新町通り、国道五十八号線を横断して、メー会場の屋良城祉公園までパレード、町民や道行く人へフェスティバルをアピールした。

また、比謝川では、昔なつかしい当時のマーラン船に、当町にゆかりの深い儀間真常、太川按司、野国総官の三偉人にふんした、勝連助役、宮里喜信商工会長、金城哲男組合町ら三名が乗船され、朱色の帆をなびかせて三百年前のいにしえから一気にタイムトンネルを通りぬけて、観衆がまちうける現世の屋良城祉公園に到着すると、広場では、連合青年会が演ずる海邦船太鼓や観衆の大きな拍手が一も観衆にこたえるかのように、船



# 比謝川沿いの 第1回YOU 二千名余の観



上から、にこやかに手をふり、こたえていた。

ひきつづき、同広場では、一行の歓迎セレモニーが行なわれ、主催者の大城会長（商工会青年部長）の歓迎あいさつのあと、儀間真常役の勝連助役は「ほんとうに長生きしてよかったです。青年たちがこの様な催しをもって大変すばらしい、これからも、読谷村共々に比謝川に清流を取り戻すために頑張って

きしてよかったです。青年たちがこの様な催しをもって大変すばらしい、これからも、読谷村共々に比謝川に清流を取り戻すために頑張って

いままで降り続いている大粒の雨も、フェスティバルのメインであるいかだ競漕になると、すっかり晴れあがり、二千名余の観衆が見守るなか、比謝川では職域いかだ競漕を皮切りに、家族対抗や婦人部対抗などの各レースが次々に行なわれた。

レースに出場した参加チームは

三十六チームで、どのチームも、最初はカイをこぐにもなれないせいか、方向をまちがえいかだを草むらやどてにつっこみ思うように前に進まず、なかにはスタート地点に着くこと自体、大変といった風景があちらこちらで見られるなど、いかだ競漕も観衆の笑いや声援のなかで熱戦がくりひろげられた。

また、日頃は、水面をおよいだり顔をのぞかしたりしている比謝川の主人公のパンやスッポンも、この日は、人間の祭りにおどろいたのか、すっかりすがたをみせず、



行きたい」とラーマン船からあいさつ、大川按司役の宮里商工会長や野国総官役の金城組合長らのいさつのあと、三名から、いにしえの土産品が主催者へ手渡されると観衆の間から一段と拍手がわきあがつた。

いままで降り続いている大粒の雨も、フェスティバルのメインであるいかだ競漕になると、すっかり晴れあがり、二千名余の観衆が見守るなか、比謝川では職域いかだ競漕を皮切りに、家族対抗や婦人部対抗などの各レースが次々に行なわれた。

レースに出場した参加チームは三十六チームで、どのチームも、最初はカイをこぐにもなれないせいか、方向をまちがえいかだを草むらやどてにつっこみ思うように前に進まず、なかにはスタート地点に着くこと自体、大変といった風景があちらこちらで見られるなど、いかだ競漕も観衆の笑いや声援のなかで熱戦がくりひろげられた。

また、日頃は、水面をおよいだり顔をのぞかしたりしている比謝川の主人公のパンやスッポンも、この日は、人間の祭りにおどろいたのか、すっかりすがたをみせず、

バンやスッポンにとつては、人間たちの祭りに生活圏をうばわれ、長い一日となつた。

フェスティバルも城祉公園内の水辺の子供広場を中心、子供たちによるグッピーすくいや、公園内に特設されたか車による急流下りや比謝川をはさみロープで作られたインテアンドリッジなどが子供たちに人気をよんでいたが、なかなかでも、グッピーすくいや急流下りなどが子供たちの間でも大好評

つまれ、子供たちの歓喜な声が、山あいにひびきわたり、一日中にぎわいをみせるほど、同フェスティバルも初めての試みとは思えないほど、成功裏に幕を閉じた。

一方、比訓川フェスティバルを前に、七月二十五日～三十一日までの一週間、同祭りの一環として、比謝川に関する歴史や自然、環境などのようすが、写真やパネルをつかって町役場の一階ロビーと地下展示室で紹介され、期間中は、多くの一般参観者がつめかけるなど、好評を博していた。

# なの 場

## ぼくの詩・わたしの詩

### たのしかつたこと

おとうさんが、

すなべスボーツランドに行こうといったので行きました。

めいろに

ちようせんしたら

五十一ふんかかりました。

ぶらんこみたいなのに

のつたら

おにいちゃんが

つよくこいだので

こわかつたです。

こんどは、

「あつた」という

ぶらくの海へ

およぎに行きました。

夕がたは、

「へんとな」の

おばあちゃんのいえに

あそびに行きました。

その日は、

とてもつかれていたので  
すぐねむつたよ。



嘉手納小学校2年  
つはこ よしの

### 母子寡婦福祉会 創立十周年記念式典並びに 第十四回定期総会盛大に挙行

町母子寡婦福祉会では、同会創立十周年記念と第十四回定期総会が去った七月二十三日(土)午後、中央公民館大ホールに吉浜町長をはじめ来賓や多くの会員が出席するなか盛大に挙行された。

式典は、花城会長のあいさつではじめ、来賓のあいさつや永年、はじめり、来賓のあいさつや永年、

会に貢献された個人および団体の表彰が行なわれたあと、「二十一世紀に向けて女性の生き方、子育て方」と題して、伊波圭子県母子寡婦福祉連合会長の記念講演など

が行なわれ、式典は終了。

ひきつづき定期総会に移り、昭和六十二年度事業報告、歳入歳出決算、昭和六十三年度事業計画および歳入歳出予算を原案どおり全会一致で承認、役員改選では、花城スミ子会長に代つて喜友名敏子さんが新会長に選出された。

新旧役員の紹介やあいさつのあと、大会宣言および決議(案)を採択し、「今日の日はさようなら」のメロディーを全員で齊唱、会員の幸せを願いつつ式典ならびに総会の幕を閉じた。



# みん広

りの推進を目的に、昭和六十三年度の婦人学級を開設、その最初の婦人学級では英会話教室の開講式が、八月一日午後中央公民館の視聴覚教室で行なわれた。



## ロバートさんの指導で 英会話に励げむ 町内のお母さんたち

町社会教育課では、町内の婦人を対象に婦人の自主性と家庭・社会生活の課題を学習を通して広め、あわせて、健康で明るい家庭づくりのため役立てて下さい。

席上、奥島教育長は開講式に際し「本町は、多くの外国人が住んでおります。英会話を勉強されて、あわせて、日常生活のなかで役立てて下さい」

は英文だけのテキストを見て、「私もできるのかな」と心配そうな表情をしていたが、サンダースさんは笑顔でやさしい指導に、学級も明るく婦人たちも、楽しそうに英会話に取り組んでいた。

講師のロバートさんは、民間人で、ベンシルバニア・ジョージワシントン両州立大学を卒業。フランス語やスペイン語の教師資格を有し、さらには、ロシア語やギリシャ語でも勉強されて語学はペラペラで、現在は、沖縄市や宜野湾市・浦添市などで、学生や一般を対象に英会話を教えている。

婦人学級では、このほかに、ヨガ、健康、レクリエーション、など、幅広い内容の講議が予定されている。

とあいさつ、講師のロバート・サンダースさんが紹介された。

ロバート・サンダース」と英語で自己紹介をしたあと、写真。にこやかな笑顔で受講生一人一人にやさしく発音を指導するなど、うちとけた雰囲気のなかで授業を始めた。



## 一般や県内の書道愛好家が参加 書写・書道研究会を催す。

沖縄書写・書道教育研究会（金城珍諒会長）主催および町教育委員会後援による町内や県内の書道愛好家を対象に、書写・書道研究会が八月十五日町中央公民館ホールに統本湖山先生と久米公雄文部省視学官を講師に招き催された。

地域の書道教育の振興を目的に全日本書道連盟が本町において同研究会を開くのは初めての企画で、上間徳保嘉手納小学校長が中心となつて書道愛好家に呼びかけをし

たところ、当日は、町内的一般書道愛好家をはじめ県内の小・中・高校の関係者ら二百名余が詰めかけ、同ホールも盛況であった。

研究会も午前中は、「あたらしい書写・書道のあり方」をテーマに講師の続

本湖山先生による書道の実地指導が行われ、参加者も真剣

な表情で、筆を手に一字一字ていねいに書きあげていた。

「中頭で開かれた同研究会に、二百名余の書道愛好家が参加されたのは初めてであり、この大会を機会に今後も本町で書道関係の行事を催していく」と世話役の上間徳保校長は、笑みをこぼし話された。

た。



# 「愛される町にしたいね 下水道」をテーマに

## 九月十日は全国下水道促進デー

町役場都市計画課

わたしたちの生活や産業活動で

生じる污水は、美しい自然や生活環境を破壊する元凶となっています。この污水を集めて処理し、河川や海に流す下水道は快適で豊かな暮らしを維持していくのに欠かせないものとなっていますが、下水道にティッシュペーパーや、廃油等を流すと下水管のつまりや、下水道処理ポンプ場の機械等の故

障の原因になります。  
下水道は、公共の財産ですので、みんなで正しく利用しましょう。

九月十日は全国下水道促進デー。下水道の果す役割を改めて考えた

いものです。また町では、これま

で同様に水洗化改造資金二十万円限度額)として、(長期四十ヶ月

(償還)無利子で貸付する制度を設け下水道処理ポンプ場の機械等の故

ておりります。

### 今年は住宅統計調査が 行われます

今年は、昭和二十三年以来五

年ごとに行われている「住宅統計調査」の年です。この調査は、市区町村の住宅建設計画や環境整備計画などの立案の基礎となる資料として幅広く利用されます。

調査の対象となつた世帯には、九月二十三日から三十日の間に、都道府県知事から任命された調査員が、調査票をもつて、訪問します。記入していただきたい調査票は、十月一日から七日の間に、再び調査員が回収にうかがいます。

今年は、昭和二十三年以来五年ごとに行われている「住宅統計調査」の年です。この調査は、市区町村の住宅建設計画や環境整備計画などの立案の基礎となる資料として幅広く利用されます。

調査の対象となつた世帯には、九月二十三日から三十日の間に、都道府県知事から任命された調査員が、調査票をもつて、訪問します。記入していただきたい調査票は、十月一日から七日の間に、再び調査員が回収にうかがいます。

調査の結果は、国、都道府県、査へのご協力をお願いします。

### 嘉手納町下水道工事指定店名

嘉手納電気水道工事社  
株比謝川電機  
嘉手納文化設備

仲本設備  
(有)兼村設備工業  
知念電気水道工事社  
(有)仲本電工

中央電気水道工事社  
六一二二六七  
六一八五九一  
六一二〇七二  
六一八二七四  
六一一六九四  
六一二三五三  
六一九一五五

### 戦後、ソ連またはモンゴルの 地域で強制抑留された皆様へ

戦後、ソ連またはモンゴルの地域において、強制抑留され日本に帰還した方々に、慰労品(書状・銀杯)が贈呈されることになりました。

あわせて、これらの方々のうち年金恩給などを受給していない方には、慰労金として10万円(2年償還の記名国債)が支給されます。

戦後強制抑留者の方がすでに亡くなっているときは、その方のご遺族がこれらの贈呈、支給を受けられることになっています。

これらの贈呈、支給は、本人またはご遺族の請求にもとづいて行うことになっています。

該当される方は、厚生課から請求書類を受け取り、必要な書類を添えて提出してください。

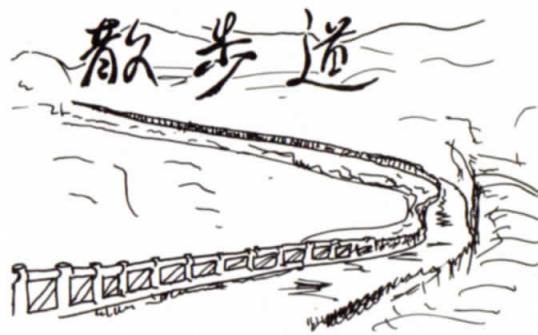
なお、請求書類は町役場厚生課に置いてあります。

請求期限は、昭和63年8月1日から昭和68年3月31日までとなっていますので、ご注意ください。



尚、詳しくは、厚生課  
(6-1111(内)321)まで  
お問い合わせ下さい。





が生まれ、新しい遊びの発見があつた。

そうした中で友だちとして、先輩後輩としての深い絆と確かな交流があった。考えて見ると私たちの先輩方は、良きリーダーであり、お兄さんでもあり、今流に言えば金のかからない家庭教師でもあつたような気がする。

子どもの頃、創意工夫して作った手作りの玩具は、未完成で単純なものではあつたが、遊びの世界が豊かな人間として、たくましく成長していく為には、自然の中で自由に駆けまわる環境が必要である。私達が子どもの頃は上級生にさそわれて山や川や海などにもよく行つたものだ。また危険だと思われる場所にくると足下に注意するよう声を大にして叱つたり、げんこつで戒めることや、優しくいたわることも決して忘れなかつた。時には、ナイフを使って木や竹を切り、野原で竹とんぼや鳥かごやこまなどの玩具を作つて遊んだ。

自分で作り出すこと自体が遊びであつた。その遊びの中で創造力、空想力



## 遊び場を奪われた 子供たち（上）

喜友名 朝 紀

（県教育庁指導主事）

なつているように思われる。一例を上げるならば、以前は危険もなく立派な遊び場としてつくられ、毎日子どもたちでにぎやかだった場所が、今は駐車場に変わり、また公園のごときは酒飲み集団の場に変つてしたりして、大人は自から襟を正し、子どもたちに健全な遊び場を返えすべきである。

子どもたちの遊び場が失われ、今は自然の広場から追われて家の中に押し込められている。中でもテレビの普及はいちぢるしく、たまち子どもたちをとらえ、子どもの生活をすっかり変えてしまつていて。

ぶらつくようになり、このような状態が続けば家にも寄りつかず、ましてや学校に行くことさえやる。子どもにとっては、ショックのあまり家を飛び出し、日々街を歩いて初めて親は我慢出来ずテレビを消してしまう。ここまでくると親と子どもの信頼関係に溝ができ、このことが再三おこるようになれば親にとっては、がみがみ言わざるを得なくなり、あげくの果ては手が出でてみたい。……（続く）

お店やデパートで買うものであつて、自分で工夫して作れるものと思つていないのでないでしよう。

テレビを見る時間は年間の授業時間ではあるが、欠席がちとなり、平気で無断欠席が続くようになれば、当然、学力低下につながり、登校拒否となる。

このようなケースは、一例にすぎず、もっと根は深いものがある。なぜかといふと、親は幼い頃からテレビに夢中になつて家族との対話がなくなり、家族団らんの時間が破壊され、更には子どもの思考力の発達に大きなマイナス面が出るのではないかと心配される。

その大きな原因是、子どもたちの情報交換の場として使われていない。遊びを大人が奪い去っている所には大きなマイナス面が浮きぼりにならないかと心配される。

プロフィール	喜友名朝紀氏
昭和三十四年三月	琉球大学文理学部美術工芸科を卒業
昭和三十四年四月	中央高等学校教諭
昭和五十八年四月	県立真和志高等学校教諭
昭和六十年四月	県教育庁高等学校教育課指導主事、現在に至る。
経歴	
昭和五十一年一月	沖縄タイムス芸術選賞奨励賞受賞
昭和五十五年十一月	沖縄展運営委員及び審査員
昭和五十三年一月	○日本国際美術家協会理事
	○その他略



## 秋の環境衛生週間

テーマ●みんなで築くよりよい環境  
期間●昭和六十三年九月二十六日～十月一日  
(尚、十月一日は区民一斉清掃日です。)

(町役場保健衛生課)

## ビーチパーティーで 渡具知の海は子供達の歓喜の声

### ビーチパーティーを通じて会員

の親睦と親子のふれあいを図ろう  
と。南区子供会（伊礼哲会長）  
と育成会（上原清道会長）共催に  
よるビーチパーティーが八月二十一  
日読谷村の渡具知の浜で催された。

同ビーチも夏休みに入ると利用  
者でごったがえし、場所を確保す  
るのに困難なため、同育成会は、  
前日の午後から大人が泊込みで、  
テントを設置し場所を確保して  
いた。

当時は、夏休みとあって八十名  
余の家族連れが参加。父母が見守  
るなか、うきぶくろやスノーケル  
を使い水しぶきをあげて、おもい  
おもいに海水浴を楽しむ、子供た  
ちの歓喜な声がひときわ浜辺にひ  
びきわたっていた＝写真。

また、ビーチパーティーの昼食  
は、子供たちが中心となり、そば  
は、そばやつゆの味つけなどに奮闘して  
作りに挑戦。

父母のアドバイスで、そばやつ  
しばらくすると、あたりにおいて  
しそうなそば汁のにおいが漂よう  
と、今まで海水浴をしていた子  
供たちも海からかけあがり、食器  
を手に、出来あがったそばをいた  
だきながら「おいしいね」、「じょ  
うずだね」と、親子で話を交すなか、  
同ビーチも夏休みに入ると利用

者でごったがえし、場所を確保す  
るのに困難なため、同育成会は、  
前日の午後から大人が泊込みで、  
テントを設置し場所を確保して  
いた。

一方、町の手をつなぐ親の会で  
も、去った八月十日タイガービー  
チにおいて、日頃、海水浴に行く  
機会が少ない子供たちのためにビ  
ーチパーティーを催し、子供たち  
も、ボランティアの協力で、海水  
浴や宝さがしなどのゲームに、お  
もいつきりはしゃいでいた。

昭和63年

## 高齢者交通安全運動

期間 昭和63年9月11日(日)～9月20日(火)

運動の重点目標 (1)県民の高齢者に対する交通安全意識の醸成  
(2)高齢歩行者、高齢自転者利用車の交通事故防止  
(3)高齢運転車の交通事故防止

—(嘉手納町交通安全推進協議会)—